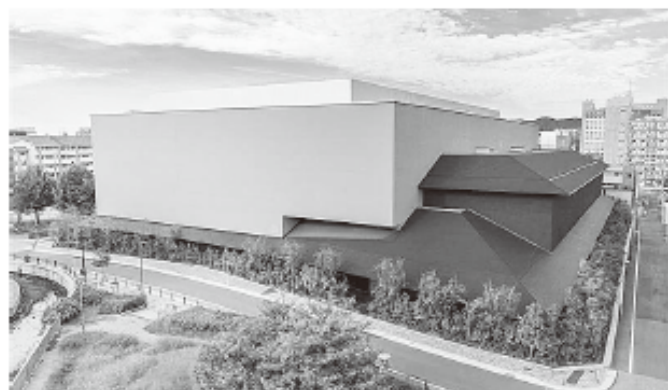




企業ファイル

大成建設がアート施設の命名を契約

大成建設

オンラインの拠点を公開

伊藤園

大成建設は、ＪＲ京都駅南口に昨秋オープンしたアートミュージアムとネーミングライツ（命名権）契約を結び、同館は４月から「チームラボ バイオヴォルテックス 京都 - 大成建設」として運営を始めた。

運営する「チームラボ」と２０３１年３月末まで５年間の契約を結んだ。大成建設の相川善郎社長は「地域や社会の未来につながる価値を生み出す拠点となることを

願っている」とのコメントを出した。

同館は京都市南区東九条東岩本町にあり、２５年１０月に開館した。大成建設は世界的な建築家、ル・コルビュジエの作品展示、将棋の清麗戦など文化振興に力を入れており、「今後も文化・芸術活動への関わりを通じて、豊かな社会づくりの実現に貢献する」としている。

伊藤園は５月１日、伊藤園グループ全体のＥＣサイトを横断的につなぐ新たなオンライン拠点「IT OPEN GROUP ONLINE E-MALL（イトウエン・グループ・オンライン・モール）」を公開した。ここをベースにグループ各社、各ブランドのＥＣサイトをつなぎ、顧客が求めるＥＣサイトを選択できる環境を提供する取り組み。

伊藤園によると、顧客の商品選択の基準や関心は、「日本茶を楽しむみたい」「健康を意識したい」「新しい飲み方や価値を知りたい」など、目的やライフスタイルによって細分化しているという。用途やテーマで特化した複数のＥＣサイトを立ち上げるとともに、各ＥＣサイトにスムーズにアクセスできる起点として公開した。

健康教育に電子版教材を無償提供

大塚製薬

大塚製薬は、熱中症対策や食育などに関する電子版教材を無償で提供している。教職員を対象にした教材で、授業やホームルーム、部活動で活用できるよう、小、中、高校と各年代に応じた内容になっ

ている。
大塚製薬は４月３０日、ホームページで専用サイトを公開し、閲覧・ダウンロードできる電子版教材の提供を始めた。学習指導要領に基づいた教材も用意して全国の

学校や教育関係者が利用しやすい環境を整えた。
小学校向け教材では、児童にとって身近な給食をテーマにしている。中学校向けは水分の役割やカラダから水分が失われる仕組みなど、体と水分の関係を学ぶ熱中症・水分補給に関する授業用教材セットを提供する。高校向け教材では熱中症や発汗の仕組みなどを分かりやすく解説した資料を提供する。